

# 2020 年度 会務報告

## 社会言語科学会 2020 年度第 1 回（通算第 104 回）理事会議事録

日時： 2020 年 8 月 1 日（土）13:15～17:20

開催方法： Zoom

出席者：

理事 片岡邦好，多々良直弘，阿部新，井出里咲子，岡本能里子，生越直樹，片桐恭弘，  
田中ゆかり，伝康晴，中井陽子，秦かおり，藤井洋子，三宅和子，森本郁代，  
柳田直美

監事 熊谷智子，小磯花絵

事務局委員： 植野貴志子，田中祐輔，長谷川明香

事務局幹事： 田中弥生

### 【報告】

各委員会からの報告

#### ○徳川宗賢賞選考委員会

1. 第 48 回徳川宗賢賞選考委員会について
  - 1) 第 44 回研究大会の開催中止に伴い，第 48 回徳川宗賢賞選考委員会を開催しなかったことが報告された。
2. 徳川宗賢賞の選考規程について
  - 1) 学会ウェブサイトで公開されている徳川宗賢賞の選考規程について，改定案が委員長から出され，理事会メーリングリスト上での検討を経て承認されたことが報告された。
  - 2) 受賞者公表に合わせて，選考規程の改定版を学会ウェブサイトに公開したことが報告された。
3. 第 19 回徳川宗賢賞授賞式の延期について
  - 1) 第 44 回研究大会時に予定されていた第 19 回徳川宗賢賞授賞式について，同じく授賞式を計画していた研究大会発表選考委員会および企画委員会とも協議の上，徳川宗賢賞選考規程第 6 条第 1 項に則り，直近の研究大会（2021 年 3 月の第 45 回）において実施することとしたことが報告された。
4. 今後の予定について
  - 1) 今後の委員会開催予定および活動計画が報告された。

## ○事務局委員会

### 1. 会勢報告について

- 1) 2020年7月21日(火)現在の会勢が報告された。

会員数：1,275名。内訳は次の通り。

一般会員：1,106名	一般 ODA 会員：3名
学生会員：107名	学生 ODA 会員：0名
団体会員：58団体	名誉会員：1名

### 2. 会費納入状況について

- 1) 2020年7月21日(火)現在の会費未納件数(2017～2010年度分)が報告された。

一般会員：427名	一般 ODA 会員：3名
学生会員：16名	学生 ODA 会員：0名
団体会員：18団体	

- 2) 2020年7月21日(火)現在の会費納入率が、2017年度分は97.8%、2018年度分は97.8%、2019年度分は94.5%、2020年度分は73.3%であることが報告された。

### 3. 令和2年7月豪雨の被災者を対象とした会費免除について

- 1) 令和2年7月豪雨の被災者を対象とした会費免除について、2020年7月16日(木)に、学会ウェブサイトならびに会員メーリングリストを通して会員に周知したことが報告された。

### 4. 日本学術振興会賞、日本学術振興会育志賞の推薦について

- 1) 推薦の条件に照らし、今回は該当者がいなかったことが報告された。

## ○研究大会委員会

### 1. 第44回研究大会について

- 1) 研究大会の事前申込者数、入金者数、返金者数などをまとめた資料をもとに、返金額、収入額(543,000円)などの詳細が報告された。
- 2) 第38回研究大会からの事前申込者数(研究大会)の推移が示され、その中で第44回研究大会が229名と最も多いこと、年1回開催になり事前申込が増加した可能性があることが報告された。
- 3) 懇親会の事前申込者数、入金者数、返金者数などをまとめた資料をもとに、返金額、収入額(50,000円)などの詳細が報告された。
- 4) 第38回研究大会からの事前申込者数(懇親会)の推移が示され、第44回研究大会はこれまでと同程度の71名であったことが報告された。
- 5) 予定されていた研究発表とワークショップの質疑応答をウェブ上で開いたこと、事後にアンケートを設けたことが報告された。アンケート結果として、質疑応答の企画がおおむね好評であったことが報告された。

### 2. 第45回研究大会について

- 1) 研究大会までの準備日程が報告された。
- 2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、現在、研究大会委員会では、オンラインで

の学会開催を検討していることなどが報告された。

3. 第46回研究大会について

1) 以下の予定で計画されていることが報告された。

日時：2022年3月（日は未定）

会場：関西学院大学

### ○学会誌編集委員会

1. 学会誌第22巻第2号（2020年3月刊行）について

1) 巻頭言，研究論文4編，資料1編，書評4編を掲載したことが報告された。

2. 学会誌第23巻第1号（2020年9月刊行予定）について

1) 最終的に17編の論文を掲載予定であることが報告された。内訳は，特集「新しい学習・教育が変えていく社会—「社会言語学」からの貢献」（エディター：森本郁代，井出里咲子，宇佐美洋，武黒麻紀子各氏）が10編，一般投稿論文が7編である。

3. 投稿・査読状況について

1) 2020年7月6日（月）現在の査読状況が報告された。

2) 2020年2月1日（土）～同年6月30日（火）の投稿件数が報告された。

4. 第25巻第1号の特集について

1) 現在テーマを検討中であること，2020年9月末までにテーマを決定し広報を開始する予定であることが報告された

### ○企画委員会

1. 第44回研究大会で予定されていたJASSカフェについて

1) 研究大会が中止となったことに伴い，JASSカフェも中止したことが報告された。

2. 第2回社会言語科学会シンポジウムについて

1) オンライン開催とし，日時を2020年9月20日（日）13:30～17:45にしたことが報告された。開催方法について，「桜美林大学 OBIRIN 講堂」が使用できるとの申し出が多々良理事からあり，そのシステムを使用する方向で詳細を調整することとなった。

2) 言語系学会連合の「共催」制度イベントに採択されたことが報告された。

3. スチューデント・ワークショップについて

1) 社会言語科学会シンポジウム同日の午前で開催予定であったスチューデント・ワークショップは中止としたことが報告された。

4. 2021年度以降の社会言語科学会シンポジウムおよび同日午前開催のスチューデント・ワークショップについて

1) 現在検討中であることが報告された。

### ○事業委員会

1. 2020年度の講習会について

1) 2021年3月に講習会開催を計画中であるとの報告があった。講習会のテーマ，講師などの案が示された。

## ○広報委員会

1. 第 44 回研究大会中止に伴う各種連絡について
  - 1) 第 44 回研究大会開催中止の決定を受けて、その旨を速やかに学会公式 SNS にて告知したことが報告された。
  - 2) 出店を希望していた企業に対して、開催中止の連絡をしたことが報告された。
2. 学会誌第 23 巻第 1 号への広告募集について
  - 1) 広告募集状況が報告された。
3. 第 2 回社会言語科学会シンポジウムに関する言語系学会連合との連絡について
  - 1) 言語系学会連合から「共催」イベントとしての助成を受けているため、新型コロナウイルス感染症によって開催状況が変わる場合の対応について連合から連絡があったことが報告された。連合からの連絡を受けて連合に実施案（オンライン開催による会場変更）を伝達したことが報告された。
4. 言語系学会連合について
  - 1) 連合の運営委員会の議事録が届いたことが報告された。
  - 2) 言語系学会連合加盟学会の意見交換会の日程が報告された。
5. 学会公式 SNS について
  - 1) 前回報告（2020 年 2 月）以降の実施状況が報告された。

## ○研究大会発表賞選考委員会

1. 第 43 回研究大会の研究大会発表賞（第 20 回研究大会発表賞）の授賞式の取り扱いについて
  - 1) 第 44 回研究大会中止に伴い、第 43 回研究大会における発表を対象として選考された研究大会発表賞の授賞式が延期となり、直近の研究大会（2021 年 3 月の第 45 回）において実施することとしたことが報告された。

## 【議案】

1. 理事・監事選挙結果および次期理事・監事候補の推薦について
  - 1) 理事、監事について、それぞれ 270 票（うち白票 14 票）、90 票（うち白票 6 票）であったことが報告された。ただしこの中には無効票も含まれている。
  - 2) 推薦数を考慮して新理事と新監事の候補を決定し、打診することが報告された。
2. 2019 年度決算報告
  - 1) 2019 年度決算について報告され、承認された。
3. 2020 年度予算案について
  - 1) 2020 年度予算案が報告された。指摘された点を修正した案を理事会メーリングリス

トで審議することが確認された。

#### 4. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う学生会員の年会費について

- 1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い学生会員の年会費を申し出により免除する案が提案された。事務局委員会で文面案を作成し理事会メーリングリストに流して審議することが確認された。

#### 5. 第 45 回研究大会の開催日程・企画・開催形式について

- 1) 理事会での協議の結果、日程が 2021 年 3 月 13 日（土）～15 日（月）に決定された。
- 2) 招待講演として、第 44 回研究大会に依頼していた中村桃子氏（関東学院大学）、土屋俊氏（大学改革支援・学位授与機構）に再依頼することが承認された。
- 3) オンライン開催とし、桜美林大学 OBIRIN 講堂を利用する方向で調整することが確認された。
- 4) 第 45 回研究大会がオンライン開催の場合、学生参加費の減額を検討してもよいのではないかという意見があった。

#### 6. 学会誌投稿規定、執筆要項の改訂について

- 1) 投稿規定および執筆要項を改定する案が提示され、議論の結果、修正案を理事会メーリングリストで審議することとなった。

#### 7. 研究大会発表賞の選考規定の改定について

- 1) 突発的な事態で研究大会が中止（途中中止も含む）となり発表がなかった場合に対応するために、研究大会発表賞の選考規程を以下の通り変更することが提案され、承認された。

##### 1. 授賞対象・授賞件数

（変更前）

毎回の研究大会における口頭発表・ポスター発表から、合わせて原則 2 件の発表の筆頭発表者に対し授与される。

→（変更後）

学会が授賞対象として指定する発表形態においてなされる各大会の発表から、合わせて原則 2 件の発表の筆頭発表者に対し授与される。

これにより、「発表した」と見なされるものが研究大会発表賞として審査されないという齟齬が解消され、若手の研究者を顕彰するという賞の意義が生かされた形になり、授賞式の遅れも一定程度補償されることになると思われる。

## 社会言語科学会 2020 年度第 2 回（通算第 105 回）理事会議事録

日時： 2020 年 9 月 19 日（土）13:00～17:00

開催方法： Zoom

出席者：

理事 片岡邦好，多々良直弘，阿部新，井出里咲子，岡本能里子，生越直樹，片桐恭弘，  
伝康晴，中井陽子，秦かおり，藤井洋子，三宅和子，森本郁代，柳田直美

監事 熊谷智子，小磯花絵

委任状提出者： 田中ゆかり

事務局委員： 植野貴志子，田中祐輔，長谷川明香

事務局幹事： 田中弥生

### 【報告】

各委員会からの報告

#### ○徳川宗賢賞選考委員会

1. 第 20 回（2020 年度）徳川宗賢賞受賞論文の選考について
  - 1) 選考対象の論文の編数が報告された。
2. 今後の委員会開催予定について
  - 1) 委員会開催予定が報告された。
3. 第 45 回研究大会における徳川宗賢賞の表彰について
  - 1) 第 44 回研究大会の中止により実施できなかった分もあわせて，2 年分の表彰を第 45 回研究大会にて行なう予定であることが報告された。

#### ○事務局委員会

1. 会勢報告について
  - 1) 2020 年 9 月 3 日（木）現在の会勢が報告された。  
会員数：1,256 名。内訳は次の通り。

一般会員：1,081 名	一般 ODA 会員：3 名
学生会員：113 名	学生 ODA 会員：0 名
団体会員：58 団体	名誉会員：1 名
2. 会費納入状況について
  - 1) 2020 年 9 月 3 日（木）現在の会費未納件数（2018～2020 年度分）が報告された。

一般会員：327 名	一般 ODA 会員：2 名
学生会員：16 名	学生 ODA 会員：0 名
団体会員：10 団体	
  - 2) 2020 年 9 月 3 日（木）現在の会費納入率が，2018 年度分は 97.7%，2019 年度分は

94.8%, 2020年度分は79.1%であることが報告された。

3. 学生会員の会費免除について

- 1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、修学が困難となっている学生会員に対して年会費の免除のお知らせを行なったこと、現時点で6件の申請があり全て理事会メーリングリストにおいて承認されたことが報告された。

4. 人文社会科学系協会男女参画連絡会（GEAHSS）運営委員会について

- 1) GEAHSSの2020年度第2回（通算第6回）運営委員会に、本学会が参加予定であることが報告された。

## ○研究大会委員会

1. 第45回研究大会について

- 1) 学生向けのサービスの充実を図ることを目的に、学生の研究大会参加費を1,000円減額したことが報告された。
- 2) 研究大会参加および懇親会参加は、すべて事前申込制とすることが報告された。
- 3) 研究大会参加費および懇親会費のキャンセル（返金）の取り扱いについて、「学会の責めに帰さない中止の場合は参加費を返金しない」旨を明記することが報告された。
- 4) 招待講演について、第44回研究大会にご登壇予定だった中村桃子氏、土屋俊氏に再依頼を行ない、ご快諾いただいたとの報告があった。
- 5) 発表募集から研究大会までのスケジュールが報告された。
- 6) オンライン開催の場合の発表者マニュアル、司会者マニュアル等、今後検討が必要な項目が示された。

2. ウェビナーによる学会開催のセミナー（国際文献社による）参加について

- 1) 国際文献社大会部門主催のセミナーに、研究大会委員会が参加したことが報告された。

## ○学会誌編集委員会

1. 学会誌第23巻第1号（2020年9月刊行予定）について

- 1) 特集10編、一般投稿7編の論文、計17編を掲載予定であることが報告された。

2. 投稿・査読状況について

- 1) 2020年9月2日（水）現在の査読状況について報告された。
- 2) 2020年7月1日（水）～同年8月31日（月）の投稿件数が報告された。

3. 学会誌第25巻第1号の特集について

- 1) 近日中にテーマおよび投稿呼びかけ文の案を委員会に諮る予定であること、9月末までに決定し、広報する予定であることが報告された。なお、テーマは「コロナ禍と社会言語科学」（仮）の予定である。

4. 投稿規定の改訂について

- 1) 英語版の文面が確定次第、学会ウェブサイトへアップする予定であることが報告された。

## ○企画委員会

1. 第2回社会言語科学会シンポジウム（2020年9月20日（日）13:30～17:45開催）について
  - 1) OBIRIN 講堂 Main Hall でのオンライン開催とし、参加申し込み期間を8月31日（月）～9月14日（月）としたこと、学会ウェブサイト、会員メーリングリスト、学会公式 SNS を通じて広報を行なったことが報告された。
  - 2) 準備状況が報告された。
  - 3) 事前申込の人数は計293名であること（内訳は以下の通り）が報告された。

一般会員	159名	学生会員	40名
非会員一般	67名	非会員学生	27名
  - 4) オンライン開催になったことに伴い、言語系学会連合からの助成金3万円は返金する予定であることが報告された。

## ○事業委員会

1. 2021年3月開催の講習会について
  - 1) 2021年3月にオンラインで講習会を開催予定であること報告された。案の詳細は以下の通りである。

オンライン講習会（案）  
「社会言語科学の研究の始め方」  
日時：2021年3月中（3日間または2日間）  
場所：オンライン  
テーマおよび講師：  
ビデオデータを見る：坂井田瑠衣氏、堀内ふみ野氏  
質問紙を作る：長岡千賀氏、新井保裕氏  
フィールドで問いを見つける：高梨克也氏、伝康晴氏  
参加費：未定  
募集人員：各コース12～15名、計36～45名程度

## ○広報委員会

1. 学会誌第23巻第1号への広告募集について
  - 1) 申し込みのあった書店、出版社の一覧が示された。
2. 第2回社会言語科学会シンポジウムに関する言語系学会連合との連絡について
  - 1) 言語系学会連合から「共催」イベントとしての助成を受けているため、学会連合協賛事業であることを明示する必要があること、シンポジウム終了後速やかに学会連合事務局に報告する必要があることが確認された。
3. 学会公式 SNS について
  - 1) 実施状況が示された。
4. 言語系学会連合加盟学会の意見交換会について

- 1) 言語系学会連合加盟学会の意見交換会に、委員長と委員1名が参加予定であることが報告された。

## ○研究大会発表賞選考委員会

1. 2020年度の活動方針について
  - 1) 2020年度の活動方針が示された。

## 【議案】

### 1. 会議に関する細則3の変更について

- 1) 協議の結果、会議に関する細則3の文言を「臨時総会を含む総会の議長は、その都度役員以外の出席会員の中から選出する。」から「臨時総会を含む総会の議長は、その都度出席会員の中から選出する。」に変更することが決定された。

### 2. 総会について

- 1) 総会の最初に出席会員に向けて議長を募ることが確認された。
- 2) 総会資料は今後、紙媒体をやめてデジタル化し、画面共有などの方法で資料提示することが提案され、承認された。

### 3. 学会誌刊行費削減について

- 1) 協議の結果、「シンポジウム報告、会務報告を学会誌に掲載しないことで全体のページ数を減らす」ことを組み込んだ刊行費削減案が採用された。会務報告は今後、学会ウェブサイト等に掲載することを検討する。

### 4. 第45回研究大会での企業出店について

- 1) オンライン開催に伴い、出版社等の企業出店をどのような方法で実施すべきか意見交換がなされた。

## 社会言語科学会 2020 年度第 3 回（通算第 106 回）理事会議事録

日時： 2020 年 12 月 19 日（土）13:00～17:40

開催方法： Zoom

出席者：

理事 片岡邦好，多々良直弘，阿部新，井出里咲子，岡本能里子，生越直樹，片桐恭弘，  
田中ゆかり，伝康晴，中井陽子，秦かおり，藤井洋子，三宅和子，柳田直美

監事 熊谷智子，小磯花絵

次期理事 朝日祥之，植野貴志子，宇佐美まゆみ，金庚芬，小西いずみ，高梨克也，  
サウクエン・ファン

次期監事 多々良直弘

委任状提出者： 森本郁代

事務局委員： 植野貴志子，田中祐輔，長谷川明香

事務局幹事： 田中弥生

### 【報告】

各委員会からの報告

#### ○徳川宗賢賞選考委員会

1. 第 49 回徳川宗賢賞受賞選考委員会（2020 年 9 月 20 日（日））について
  - 1) 第 20 回（2020 年度）徳川宗賢賞の選考対象，選考方法，審査日程について確認が行われたことが報告された。また，今回，選考対象に，徳川宗賢賞の受賞歴のある執筆者がいないことが確認されたことも，あわせて報告された。
2. 徳川宗賢賞受賞者の懇親会招待について
  - 1) 受賞者は授賞式が行なわれる研究大会時の懇親会に招待であるため，その旨を委員（総務）より受賞者に連絡することが確認された。

#### ○事務局委員会

1. 会勢報告について
  - 1) 2020 年 12 月 14 日（月）現在の会勢が報告された。  
会員数：1,291 名。内訳は次の通り。

一般会員：1,084 名	一般 ODA 会員：2 名
学生会員：146 名	学生 ODA 会員：0 名
団体会員：58 団体	名誉会員：1 名
2. 会費納入状況について
  - 1) 2020 年 12 月 14 日（月）現在の会費未納件数（2018～2020 年度分）が報告された。  
一般会員：187 名 一般 ODA 会員：2 名

学生会員：10名                      学生 ODA 会員：0名

団体会員：7団体

- 2) 2020年12月14日(月)現在の会費納入率が、2018年度分は97.9%、2019年度分は95.5%、2020年度分は90.5%であることが報告された。
3. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受けた学生会員の会費免除について
  - 1) 2020年12月17日(木)現在計8件の申請があり全て理事会メーリングリスト上の審議で承認されたことが報告された。
4. 日本学術会議会員の任命拒否問題への対応について
  - 1) 本学会理事会として、日本学術会議の「第25期新規会員任命に関する要望書」を支持することを学会ウェブサイトならびに会員メーリングリストを通じて配信したことが報告された。
  - 2) 本学会理事会として、人文社会系協会連合連絡会の共同声明に賛同したことが報告された。

## ○研究大会委員会

1. 第45回研究大会について
  - 1) 実施概要が以下の通り示された。

日時：2021年3月13日(土)～15日(月)

会場：桜美林大学 OBIRIN 講堂(オンライン開催)

実行委員会

実行委員長：多々良直弘氏

実行委員：池田智子氏、川田麻記氏、齋藤伸子氏
  - 2) 招待講演は以下の通り計画していることが報告された。

3月13日(土)招待講演  
中村桃子氏(関東学院大学)

3月14日(日)招待講演  
土屋俊氏(大学改革支援・学位授与機構)
  - 3) 一般発表応募数および審査結果が報告された。
  - 4) ワークショップ応募数および審査結果が報告された。
  - 5) 研究大会のプログラム(予定)が示された。
  - 6) 託児補助、手話通訳補助を実施すること、託児室はオンライン開催のため設置しないことが報告された。
  - 7) 懇親会を zoom での無料開催としたことが報告された。
  - 8) 第45回研究大会はオンライン開催で、確定した参加者に OBIRIN 講堂へのログイン情報等を通知するなどの作業が必要になる。そのため、参加キャンセル(返金)の期限を、これまでの「研究大会前日」から「2021年3月5日(金)」としたことが報告された。
2. 第46回研究大会(2022年3月開催)について

- 1) 開催校の関西学院大学には学会開催に対する助成金の制度がある。その申請に向けて開催校の森本理事と3月までに日程決定等の準備を進めるとの報告があった。

#### ○学会誌編集委員会

1. 学会誌第23巻第2号（2020年3月末刊行予定）について
  - 1) 編集状況が報告された。
2. 投稿・査読状況について
  - 1) 2020年12月5日（土）現在の査読状況が報告された。
  - 2) 学会誌第24巻第1号（特集号）の査読・編集状況が報告された。
  - 3) 2020年9月1日（火）～同年11月30日（月）の投稿件数が報告された。
3. 投稿規定の改訂について
  - 1) 英語版の文面が確定次第、日本語版とあわせ、学会ウェブサイトへアップする予定であることが報告された。
4. 査読システムの変更について
  - 1) 査読システムの変更を行なったことが報告された。

#### ○企画委員会

1. 第3回社会言語科学学会シンポジウム、および、同日午前開催の学生・ワークショップについて
  - 1) 日程が報告された。
  - 2) 企画責任者は、高梨克也氏（滋賀県立大学）に依頼したことが報告された。
  - 3) 高梨氏に依頼し、2021年2月末までに企画内容および登壇者を確定する予定であることが報告された。
  - 4) 現在は、シンポジウムも同日午前開催の学生・ワークショップも対面で行なうつもりで準備をしていること、ただし状況を踏まえてオンラインになることも想定して準備を進めることが報告された。
2. 第4回社会言語科学学会シンポジウム、および、同日午前開催の学生・ワークショップについて
  - 1) 開催校の依頼状況が報告された。
3. 第45回研究大会におけるJASSカフェについて
  - 1) 2日目の2021年3月14日（日）昼休みに実施予定であることが報告された。
  - 2) 3つのテーブル案が示され、これから候補者に依頼することが報告された。
    - 「招待講演者テーブル」
    - 「特集号エディターテーブル」（特集号「『コロナ禍』と社会言語科学」のエディターを迎えて）
    - 「よもやま話テーブル」
4. 第2回社会言語科学学会シンポジウムに対する言語系学会連合からの助成金について
  - 1) 言語系学会連合共済事業による助成金3万円は、オンライン開催により使用しなかつ

たため学会連合に返金予定であったが、学会連合から「返金不要」との回答があり、3万円は返金しないこととなったことが報告された。

#### ○事業委員会

1. 2020年度オンライン講習会について
  - 1) 講習会の詳細として、新たに参加費とスケジュール案が報告された。

#### ○広報委員会

1. 日本学術会議会員の任命拒否問題への対応について
  - 1) 2020年度言語系学会連合意見交換会（2020年10月11日（日））にて、日本学術会議会員の任命拒否問題に関する学会連合としての意見を表明するよう働きかけたこと、それを受けて言語系学会連合が、日本学術会議が2020年10月2日（金）に発表した「第25期新規会員任命に関する要望書」を全面的に支持するとの声明を発表したことが報告された。
  - 2) 学会ウェブサイト掲載の「社会言語科学会理事会による日本学術会議の「第25期新規会員任命に関する要望書」支持」について学会公式 SNS に情報配信したことが報告された。
2. 2021年度言語系学会連合共催事業について
  - 1) 言語系学会連合共催事業の募集について連絡があった。
3. 学会公式 SNS について
  - 1) 実施状況が示された。

#### ○研究大会発表賞選考委員会

1. 第45回研究大会での研究大会発表賞授賞式について
  - 1) 準備スケジュールが確認された。
  - 2) 徳川宗賢賞受賞者と同様、研究大会発表賞受賞者も、授賞式の行なわれる研究大会時懇親会に招待であるため、その旨を受賞者に連絡することが確認された。
2. 第45回研究大会の審査準備について
  - 1) 審査対象およびスケジュールが確認された。

#### 【議案】

1. 第20回（2020年度）徳川宗賢賞受賞論文について
  - 1) 第50回徳川宗賢賞受賞選考委員会（2020年12月13日（日））にて第20回徳川宗賢賞受賞論文の候補に以下の2論文を決定したことが報告され、「授賞理由」の文面案もあわせて示された。本理事会での議論の結果、以下の2論文の授賞が承認された。
    - 優秀賞

新井保裕氏（東洋大学），生越直樹氏（東京大学），孫蓮花氏（大連理工大学），  
李東哲氏（新羅大学）

「中国朝鮮族言語使用・意識の多様性に関する研究—朝鮮族学校でのアンケート調査—」（第22巻第1号125頁～141頁）

○萌芽賞

亀井恵里子氏（神奈川大学），細田由利氏（神奈川大学），  
アリン，デビッド氏（神奈川大学）

「自閉症スペクトラムの青年と療育者の日常の相互行為—療育者からの極性疑問文とその応答に関する考察—」（第22巻第2号3頁～14頁）

## 2. 第45回研究大会における理事会・委員会開催について

- 1) 理事会および各委員会の開催日時および開催方法（URLの設定等）は，各会に委ねることが提案され，承認された。
- 2) 各委員会の開催日時を決める前に理事会の日程を決める必要があること，委員の重なりがあるために各委員会の開催日時に関する情報を交換しながら日程調整をする必要があることが確認された。

## 3. 第45回研究大会での企業出店について

- 1) オンライン開催における企業出店の方法について議論し，OBIRIN講堂ログイン後のページに各企業の情報を記載する方法をとることに決定した。

## 4. 徳川宗賢賞および研究大会発表賞の賞状の日付について

- 1) 議論の結果，賞状には授与する（予定の）日付を記載することに決定した。

## 5. 次期役員の選出について

- 1) 次期役員について議論された。理事会後に欠席者の意向を確認し最終決定した体制は以下の通りである。

会長	片桐恭弘
徳川宗賢賞選考委員会	委員長 片桐恭弘 委員 朝日祥之，片岡邦好，中井陽子，三宅和子
事務局委員会	委員長 小西いずみ 副委員長 植野貴志子
研究大会委員会	委員長 柳田直美 副委員長 岩田一成
学会誌編集委員会	委員長 中井陽子 副委員長 朝日祥之 委員 サウクエン・ファン
企画委員会	委員長 秦かおり

	副委員長	金庚芬
事業委員会	委員長	高梨克也
広報委員会	委員長	サウクエン・ファン
	委員	宇佐美まゆみ
研究大会発表賞選考委員会	委員長	井出里咲子
	委員	三宅和子

## 社会言語科学会 2020 年度第 4 回（通算第 107 回）理事会議事録

日時： 2020 年 3 月 15 日（月） 11:40～13:00（第 45 回研究大会 3 日目昼休み）

開催方法： Zoom

出席者：

理事 片岡邦好，多々良直弘，阿部新，井出里咲子，岡本能里子，生越直樹，片桐恭弘，  
伝康晴，中井陽子，秦かおり，藤井洋子，三宅和子，森本郁代，柳田直美

監事 熊谷智子，小磯花絵

次期理事 朝日祥之，岩田一成，植野貴志子，宇佐美まゆみ，金庚芬，小西いずみ，  
高梨克也，サウクエン・ファン

次期監事 多々良直弘

委任状提出者： 田中ゆかり

事務局委員： 植野貴志子，田中祐輔，長谷川明香

事務局幹事： 田中弥生

### 【報告】

各委員会からの報告

#### ○徳川宗賢賞選考委員会

##### 1. 第 20 回（2020 年度）徳川宗賢賞について

- 1) 受賞者への受賞通知後，会員メーリングリストや学会ウェブサイトを通して受賞者を周知したことが報告された。
- 2) 授賞式を第 45 回研究大会 1 日目（2021 年 3 月 13 日（土））に実施したことが報告された。前回研究大会が中止となったため，今回は，第 20 回受賞者に加え第 19 回受賞者への授賞もあわせて行なった。オンライン開催であったため賞状は事前に受賞者に送付したことも報告された。

#### ○事務局委員会

##### 1. 会勢報告について

- 1) 2021 年 3 月 5 日（金）現在の会勢が報告された。

会員数：1,301 名。内訳は次の通り。

一般会員：1,086 名	一般 ODA 会員：2 名
学生会員：154 名	学生 ODA 会員：0 名
団体会員：58 団体	名誉会員：1 名

##### 2. 会費納入状況について

- 1) 2021 年 3 月 4 日（木）現在の会費未納件数（2018～2020 年度分）が報告された。

一般会員：127 名 一般 ODA 会員：2 名

学生会員：7名                      学生 ODA 会員：0名

団体会員：7団体

- 2) 2021年3月4日(木)現在の会費納入率が、2018年度分は98.0%、2019年度分は96.0%、2020年度分は94.8%であることが報告された。
3. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受けた学生会員の会費免除について
  - 1) 新しく1件申請があり、理事会メーリングリスト審議により承認されたことが報告された。申請は計9件となり、全て承認されたこともあわせて確認された。
4. 激甚災害による被災者の年会費免除について
  - 1) 2021年2月13日(土)に発生した福島県沖を震源とする地震により被災された方を対象に会費免除を行なうことを会員に向け周知したことが報告された。
5. 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会(GEAHSS)について
  - 1) GEAHSS第4期第1回運営委員会の日程、および、GEAHSS公開オンラインシンポジウム「タイトル：今こそアクションを！人文社会科学からの発信」について報告があった。

## ○研究大会委員会

1. 第45回研究大会(2021年3月13日(土)～15日(月)、於：桜美林大学 OBIRIN 講堂(オンライン開催))について
  - 1) 現在滞りなく進行中であることが報告された。
  - 2) 口頭発表38件、ポスター発表18件であることが報告された。
  - 3) 参加の申込は、最終的に以下の通りであることが報告された。
    - ・ 事前参加申込者 363名
    - ・ キャンセル 0名
    - ・ 懇親会申込者 98名
  - 4) 手話通訳者利用費用補助金申請はないことが報告された。研究大会発表賞受賞者に手話通訳が必要な方がいたため、授賞式での手話通訳費用、招待となる懇親会での手話通訳費用を本学会で負担したことが報告された。
  - 5) 託児補助金申請の方法について報告があった。申請者は研究大会後2週間以内に国際文献社へ申請書を郵送する。
  - 6) 第45回研究大会ではオンライン開催のため、以下の目的でコミュニケーションツールのSlackを使用することが報告された。
    - ・ 学会(研究大会委員会)からの連絡を伝えること
    - ・ 一般発表およびワークショップへの質疑応答の場として利用すること
  - 7) 2021年2月25日(木)に発表者にSlackへの登録を依頼したこと、3月8日(月)に参加者に対してOBIRIN講堂へのアクセス方法やSlack登録に関する情報等とあわせて、「参加者マニュアル」を連絡したことが報告された。
2. 第46回研究大会(2022年3月、於：関西学院大学)について
  - 1) 2021年3月3日(水)に研究大会委員会と開催校担当で打ち合わせを行なったこ

とが報告された。

## ○学会誌編集委員会

1. 学会誌第 23 巻第 2 号（2021 年 3 月末刊行予定）について
  - 1) 巻頭言，研究論文 4 編，資料 2 編，書評 4 編を掲載予定であることが報告された。
  - 2) 編集状況により，刊行が少し後ろにずれ込む可能性が示された。
2. 投稿・査読状況について
  - 1) 2021 年 2 月 28 日（日）現在の査読状況が報告された。
  - 2) 学会誌第 24 巻第 1 号（特集号）の査読・編集状況が報告された。
  - 3) 2020 年 12 月 1 日（火）～2021 年 2 月 28 日（日）の投稿件数が報告された。
3. 投稿規定および執筆要項の改訂について
  - 1) 英語版の文面が確定し，日本語版とあわせ，2021 年 1 月 15 日（金）付で改訂版を学会ウェブサイトへアップしたことが報告された。
4. 委員会開催について
  - 1) 2021 年 3 月 15 日（月）に委員会を開催予定であることが報告された。

## ○企画委員会

1. 第 45 回研究大会における JASS カフェについて
  - 1) 研究大会 2 日目の 3 月 14 日（日）11:40～13:00 に実施したことが報告された。
  - 2) 以下の 3 テーブル設置したこと，例年（対面時）より参加者が多かったことが報告された。
    - 招待講演者テーブル（中村桃子氏）
    - 特集号エディターテーブル（学会誌第 25 巻第 1 号エディター）
    - よもやま話テーブル
  - 3) 大会発表論文集，会員メーリングリスト，学会ウェブサイト，学会公式 SNS，フライヤー（OBIRIN 講堂に掲出）を通して，研究大会参加者へ周知したことが報告された。
2. 第 3 回社会言語科学会シンポジウム，および，同日午前開催の学生・ワークショップについて
  - 1) 2020 年度第 2 回理事会において承認された第 3 回社会言語科学会シンポジウムの詳細が企画責任者である高梨克也氏より提出されたことが報告された。
    - 日時：2021 年 9 月 11 日（土）
    - テーマ：「リフレクティブな共在の仕方」
    - 企画責任者：高梨克也氏（滋賀県立大学）
    - 話題提供者（登壇順・予定）：
      - 坂井田瑠衣氏（国立情報学研究所）
      - 大塚裕子氏（社会福祉法人喜慈会子中保育園）
      - 池田佳子氏（関西大学）
    - 指定討論者：石崎雅人氏（東京大学）

- 2) 言語系学会連合の「共催」制度への応募は行なわないことに決定したことが報告された。
- 3) 現時点では対面での開催を考えているが、状況を見てオンライン開催も検討することが報告された。
- 4) スチューデント・ワークショップについても開催予定であり、今後シンポジウムとあわせて準備を進めていくことが報告された。

## ○事業委員会

### 1. 2020 年度オンライン講習会について

- 1) オンライン講習会「社会言語科学の研究の始め方」の詳細が以下の通り報告された。

日時：2021 年 3 月 18 日（木）～20 日（土）

会場：桜美林大学 OBIRIN 講堂

概要：社会言語科学に関連した研究を始めるにあたって初学者がつまづきそうな段階を取り上げ、研究分野や方法論を限定しすぎない形で講習を行う。

コースおよび講師：

ビデオデータを見る：坂井田瑠衣氏，堀内ふみ野氏+1 名

質問紙を作る：長岡千賀氏，新井保裕氏+1 名

フィールドで問いを見つける：高梨克也氏，伝康晴氏+1 名

参加費：会員 一般：10,000 円，学生：5,000 円

非会員 一般：15,000 円，学生：10,000 円

懇親会：1 日目，2 日目の夜に Remo でオンライン開催の予定

- 2) 謝金についての報告があった。

## ○広報委員会

### 1. 第 45 回研究大会の大会発表論文集，学会誌第 23 巻第 2 号への広告募集について

- 1) 広告募集状況が報告された。

### 2. 第 45 回研究大会への企業出店の申し込みについて

- 1) 出店募集状況が報告された。

- 2) 第 45 回研究大会はオンライン開催のため，各企業の作成したウェブページの URL を OBIRIN 講堂に掲載するという形式をとったことが報告された。

### 3. 学会公式 SNS について

- 1) 実施状況が報告された。

### 4. 引継ぎについて

- 1) 第 45 回研究大会期間中に，広報委員会の引継ぎを行なう予定であることが報告された。

## ○研究大会発表賞選考委員会

### 1. 第 45 回研究大会での研究大会発表賞授賞式について

- 1) 第 43 回研究大会での発表を選考対象とする第 20 回研究大会発表賞の授賞式を，第 45 回研究大会 1 日目（3 月 13 日（土））に実施したことが報告された。
2. 第 45 回研究大会での発表を選考対象とする第 21 回研究大会発表賞について
  - 1) 対象者数が報告された。

## 【議案】

### 1. 2021 年度各委員会委員の承認について

- 1) 資料をもとに審議され承認された。
- 2) 各委員長は各委員会内に HP および SNS 担当委員を設けることが確認された。
- 3) 各委員会のメーリングリストを整えることが確認された。
- 4) 委嘱状が必要ないか新委員長がとりまとめることが確認された。

### 2. 第 46 回研究大会について

- 1) 開催日程について，第一案の「2022 年 3 月 3 日（木），4 日（金），5 日（土）」が承認された。
- 2) 開催校による学会開催の助成金について承認され，関西学院大学の後援で実施することとした。

以上